

高瀬神社 社報

越中一宮



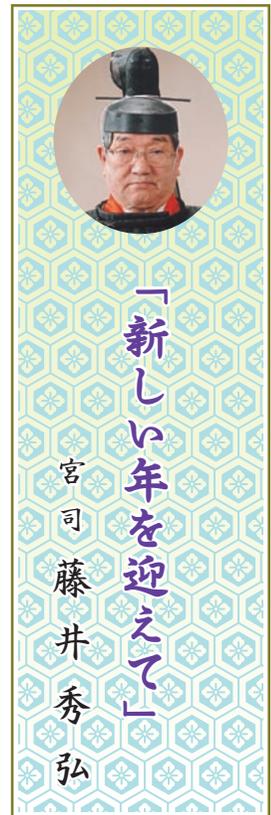
第24号

平成22年1月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏



「新しい年を迎えて」

宮司 藤井秀弘

新年明けましておめでとうございます。

平成二十二年新春を迎え、謹んで皇室の弥栄と氏子、崇敬者皆様のご繁栄をお祈り申し上げます。

昨年は天皇陛下御即位二十年の奉祝の年であり、斯界では第六十二回神宮式年遷宮の宇治橋完成というお目出度い年でありました。また、社会的には政権交代という大きな転換の年でもありました。明るい話題や暗い話題、たくさんのお出来事が次々に現れては消えて行った一年でした。

毎日の生活が平凡であれば良いのか、それとも激動の日々であれば良いのか、その選択は一人ひとりの考え方によって違うと思います。世の中には自分以外のたくさんの方がいて、それぞれが各自のスタイルで生活しています。自分自身の行いは誰にも束縛されないものではありませんが、日々の生活の中で数知れぬ人たちと接触するという事実があり、少なからず自分の言動が相手に影響を与えているということを認識しなければならぬと思います。平凡な日であろうと多忙な日であろうと一日の生活が終わったときに反省をして、明日の一日を考えるのが人の

行いでもあります。

怒ったり悲しんだりすることは人間以外の動物でも存在する感情で、笑うことは人間だけに与えられた感情なのだそうです。ゆえに人間は「万物の霊長」と称えられてきました。ところが最近はどうでしょう。親子、夫婦で殺しあう、他人を騙して財産を奪い取るなど、人間をからぬ所業が繰り返されてきています。犬や猫のほうが愛情深く生きています。人間のあるべき姿を他の動物に習わなければならぬような笑えない状況になってきています。このような所業は、年々エスカレートしているように感じます。こんな事態になっている原因はどこにあるのか、皆で真剣に考えなければなりません。

一年三五六日、毎日が平凡な日であつたならば息の詰まる、退屈な思いをするのでしようが、神様は人々に退屈しない程度の問題を出して、解答しなさいと宿題を出されます。これが日常の生活に起こる出来事でありませう。これをどのように受け止めるか、その対応が行く末を左右することにもなりかねません。模範解答は無く、答えは人それぞれです。但し、「自己中心」「自惚れ」と

いう言動で解答するとしたら神様の嫌いな解答になると思います。自分の考え方や意見が一番素晴らしいと発言すること。世間がそのように認めるならば、それは正しいことなんでしょう。でも、そうでなかったとしたらどうでしょうか。おそらく神様は落第点をつけられるのではないかと思います。

毎年年末に京都清水寺において、その年を表す漢字が発表されますが、平成二十一年は「新」となりました。新型インフルエンザの流行や政権交代で新政権が発足したということに因んでのことだそうです。新政権については私も「新しさ」に期待をしましたが、新しいがゆえに期待に込えてもらえないこともあるということが次第にわかつてきました。「新」という字には注意が必要ですが、日々、反省をして、心新たに生活し、明るく楽しい一年だったといえるようにしたいと思っています。そのため自分の目で、自分の耳で常に新しく正しい情報を得ることを心がけるつもりです。

新年を迎えた今年も寅年です。当社社の向拝に寅の大絵馬が掛けられています。描いてくれたのは大谷美術学園に通う、幼稚園・小学校の子供たちです。穢れのない純粋な心で描かれた寅たちは何とも可愛らしく、微笑ましい限りです。新しい年は、この大寅の威を借りて、混乱した世の中を直していく、そして清々しく、明るい、前向きな年になるよう努力して参りたいと思います。本年も大神様の御加護のもと、愈々のご多幸をお祈り申し上げます。頭のご挨拶と致します。

平成二十二年(庚寅)年
皇紀二六七〇年

謹賀新年

宮司 藤井秀弘

権宮司 藤井秀嗣

禰宜 齊藤直己

全 河合正登

権禰宜 浦 泰宏

全 長谷川宏幸

巫女 杉本絵里香

全 南部有希

全 藤井友希

事務員 黒田三津子

囑託 岩倉友子

祭 事 録

例 祭

去る九月十三日、例祭が斎行され、県内神社宮司をはじめ氏子・崇敬者六十名が参列しました。



宮司祝詞奏上につづき、巫女が御神前に「浦安の舞」を奉奏しました。例年にならない、コーラスグループ・ソット・ヴォーチェの先導で「高瀬神社奉賛歌」が参列者一同により奉唱されました。また、御本社につづき功靈殿例祭も併せて斎行され、遺族会員八十名とともに御英霊に感謝の誠心を捧げました。



献茶祭

十月二十六日「第三十六回献茶祭」が斎行されました。表千家流の城宝義光氏のお点前により、御神前に濃茶・薄茶が供えられました。



また、「高瀬神社献茶奉賛会」により、斎館と参集殿において拝副席が設けられました。本年は、裏千家流となみ同好会・小矢部市静和会が担当され、三五〇名を超える大勢の愛好者で社頭は賑わいました。



新嘗祭

十一月二十三日、奉幣使に齊田一除福光農業協同組合長をむかえ新嘗祭が斎行されました。



御神前には井波地域中核農士協議会（松井俊明会長）から献穀田で収穫された「コシヒカリ」と「白酒」が供えられました。砺波地区農業協同組合協議会からは幣帛が供えられました。また、篤農家には表彰状、献穀田奉耕者には感謝状が贈られました。



（篤農家表彰）
石村 悦丈殿（南砺市）
東 善一郎殿（南砺市）
（感謝状授与）
村田 文夫殿（南砺市）

祭 事 暦

《平成二十二年》

一月 一日	歳旦祭
一月 七日	元始祭
一月 十五日	昭和三皇祭
二月 三日	天神祭
二月 十一日	節分祭
二月 十七日	紀元節祭
三月 八日	祈年祭
三月 二十一日	鎮火祭
四月 三日	春季皇霊祭
四月 十日	神武天皇祭
四月 十九日	春季祭
四月 二十九日	昭和祭
五月 十日	祈年穀祭
六月 十日	風宮例祭
六月 十九日	夏越大祓
六月 三十日	稲荷社例祭
七月 十八日	人形感謝祭
七月 二十二日	除熱祭
八月 七日	七夕祭
八月 十六日	中禮祭
九月 十三日	例祭
九月 二十三日	秋季皇霊祭
十月 三日	村まつり
十月 十七日	神嘗奉祝祭
十月 二十四日	献茶祭
十一月 三日	明治節祭
十一月 十三日	神明宮例祭
十一月 十五日	七五三祝祭
十一月 二十三日	新嘗祭
十二月 三日	天長節祭
十二月 二十三日	師走大祓
十二月 三十一日	除夜祭

◎毎月一日・十三日 月次祭
◎毎月十三日 交通安全祈願祭

杜のにぎわい

剣道大会

九月二十一日、「第四十七回奉納剣道大会」が開催され、砺波地区の小中高校生の約二〇〇名の剣士により団体戦と個人戦の熱戦が繰り広げられました。



《個人の部》

▽小学生男子

- ①篠原 風斗(井波)
- ②澤 宗馬(井波)
- ③野島弘二郎(砺波)

山田 誠一(井波)

▽小学生女子

- ①青山 萌(井波)
- ②岩崎 葵(砺波)
- ③笠原 柚希(砺波)

長井 友里(B&G)

▽中学生男子

- ①青山 虹(井波中)
- ②武波 知恭(出町中)
- ③神田 佳典(井波中)

余西 宏斗(庄西中)

▽中学生女子

- ①藤崎美奈里(井波中)
- ②水口 妃奈(井波中)
- ③砂田和紀子(出町中)

中山 望音(出町中)



▽高校生男子

- ①浦野 志郎(福野高)
- ②中島 駿也(砺波工高)
- ③池辺 郁也(砺波工高)

上坂 智仁(砺波高)

▽高校生女子

- ①松井 里紗(福野高)
- ②山田 晴子(福野高)
- ③廣瀬 光(砺波高)

西林 綾乃(井波高)

- ▽小学生男子
- ①庄川中学校
- ②福野中学校
- ③出町中学校
- ▽中学生女子
- ①庄西中学校
- ②福光中学校



尚、試合結果は次の通りです。

《団体の部》—敬称略—

▽小学生男・女

- ①井波剣道スポーツ少年団
- ②砺波市剣道スポーツ少年団
- ▽中学生男子
- ①庄川中学校
- ②福野中学校
- ③出町中学校
- ▽中学生女子
- ①庄西中学校
- ②福光中学校

迎春

G GOLDWIN
株式会社ゴールドウィン
 取締役相談役 西田 東作

セندان電子(株)

代表取締役会長 武田 修
 代表取締役社長 武田 武美
 砺波市庄川町五ヶ四四〇
 TEL(〇七六三) 八二一五一一三〇

福光屋

祝儀料理
 鮮魚仕出し
 南砺市山見一七二〇
 TEL(〇七六三) 八二一五〇八二(アスマモ店)
 八二一〇七〇六(住出し部)

越中一宮高瀬神社指定 南部スタジオ

南砺市山下二七七
 TEL(〇七六三) 八二一〇一一三〇
 富山店 南部スタジオ
 富山市五福六区一八四五一六
 TEL(〇七六) 四三二一一八五五

宝石・記念品 あづちや

南砺市本町三十四八
 TEL(〇七六三) 八二一〇三六六

平成二十一年度 全国一の宮会総会開催



去る九月二十八日、当社が担当となり「全国一の宮会総会」が開催され、北海道から鹿児島県まで各地から会員宮司約五十名が参集しま



正式参拝につづき、「平成二十一年度総会」では飯田清春会長（真清田神社宮司）が議長をつとめ、事業計画・予算等が協議されました。
また、北陸大学未来創造学部長谷川孝徳教授により「加賀百万石の歴史と文化―もてなしの心と経済効果」と題して記念講演が行われました。
翌二十九日には、雄山神社や立山博物館を巡る研修会が開催され、親交を深めました。

七ととも茶会

去る十二月六日、井波茶道同好会（横山豊介会長）主催による、「里芋おはぎ茶会」が開催されました。

本年は、お茶会に先立ち、境内の茶筌塚を拝み、「茶道具感謝祭」を斎行し、古い茶筌を焼納して、茶道具への感謝と茶道の普及発展を祈りました。

お茶席では、「里芋おはぎを作る会」の皆さんにより作られた、収穫されたばかりの里芋入り「おはぎ」約六〇〇個が振る舞われ、参加者は冬の味覚を楽しみました。



北日本新聞社提供

迎春

婚礼着付

ノビアデサロンみたに

南砺市北川一八五二
TEL(〇七六三) 八二一〇四二三

巻御所落雁本舗

河内屋菓子舗

南砺市本町一の三四
TEL(〇七六三) 八二一〇四〇二

ブライダルサロン

アマノ

高岡市大手町二一八(寝場町通り)
TEL(〇七六六) 二四一四一一四

(株)林クリーニング

南砺市本町三丁目一四番地
TEL(〇七六三) 八二一〇二八九

全国にあなたの花をお届けします

花キユーピット

ミナミフラワーショップ

アミ店 TEL(〇七六三) 二二一六三三八
FAX(〇七六三) 二二一六三三八

参拜日誌抄

(敬称略)

(平成二十一年九月～十一月)

〔九月〕

一日

功霊殿奉斎会役員会 二十名

二日

白山神社(新潟市)

欄宜 小林慶直

以下二十五名

八日

氏子清掃奉仕(村総出)

出雲大社

宮司 千家尊祐

茨城県神社総代会

恵比須神社

権欄宜 山内美栄子

九日

佐嘉神社

宮司 草場昭司

青森県神社総代連合会

会長 白濱亮一 以下六名

十日

南砺市遺族会井波支部

(清掃奉仕)

南砺市遺族会福野支部

(清掃奉仕)

福井縣護國神社

宮司 宮川 脩

京都府神社総代会 二十五名

福井県神社総代会(第二班)

七十三名

香川県神社総代会 三十五名

宇夫階神社

宮司 宮本守也

伊勢神宮崇敬会

事務局長 藤井昭彦

以下三名

神社本庁

教化部長 木田孝朋

以下二名

埼玉県神社庁

庁長 中山高嶺 以下八名

福井県神社総代会(第二班)

一二九名

千葉県神社総代会

十二名

十一日

日枝神社

宮司 平尾旨明

第四十七回奉納剣道大会

(奉告祭)

二十六日

氏子清掃奉仕(村総出)

煎茶道松風流茶会

二十八日

全国一の宮会

(平成二十一年度総会)

二十九日

神道青年全国協議会

監事 上田正宙 以下六名

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

二十一日

太郎坊・阿賀神社

宮司 中村弘澄

太郎坊宮敬神講社

一四〇名

二十八日

神社庁砺波支部

(神宮大麻頒布始奉告祭)

三十日

普明会教団高岡支部

〔十一月〕

九日

氷川神社(埼玉県東松山市)

宮司 前原将雄

野本・唐子地区

高瀬神社参拝団 一〇〇名

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

迎春

田島のし店

砺波市本町七一―四
TEL(〇七六三)三三一二五二〇

おいしいお菓子の研究所

(株)ミツシュローゼ

代表取締役社長 杉原 徹
TEL(〇七六三)二二三八八八

牧印刷株式会社

南砺市理休三三三三一
TEL(〇七六三)六二一〇一一二
FAX(〇七六三)六二一三三三三

(株)ジオミックス

広告事業部 P R プランニング
小矢部市下中一三八
TEL(〇七六三)六七一一八六七

看板とイベント・宣伝の
オーバル

砺波市庄川町金屋一三〇五
TEL(〇七六三)八二四二二二二

ご結婚おめでとうございます

本年六月から十一月まで御
婚礼の御儀を執り行われた
皆様です。(挙式日、時間順)

六月	園井 絃行様	六月	川合 龍生様	六月	西永 春夫様	六月	林 泰孝様	六月	大西人之彦様	六月	福江 英寛様	六月	高桑 健様	六月	西村 太一様	六月	稲垣 春樹様	六月	河合 欣也様	六月	水口 知彦様
六月	園井 香様	六月	川合 晴美様	六月	西永 友紀様	六月	林 依子様	六月	大西人之彦様	六月	福江 裕美様	六月	高桑 文香様	六月	西村 美恵様	六月	稲垣 千春様	六月	河合 陽子様	六月	水口 純子様
七月		七月		七月		七月		七月		七月		七月		七月		七月		七月		七月	
七月		七月		七月		七月		七月		七月		七月		七月		七月		七月		七月	
八月		八月		八月		八月		八月		八月		八月		八月		八月		八月		八月	
八月		八月		八月		八月		八月		八月		八月		八月		八月		八月		八月	
九月		九月		九月		九月		九月		九月		九月		九月		九月		九月		九月	
九月		九月		九月		九月		九月		九月		九月		九月		九月		九月		九月	
十月		十月		十月		十月		十月		十月		十月		十月		十月		十月		十月	
十月		十月		十月		十月		十月		十月		十月		十月		十月		十月		十月	
十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月	
十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月		十一月	
十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月	
十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月		十二月	

迎春

となみ野を便利に結ぶ...



チューリップ交通

本社 八二〇二六九代
本 八二〇五〇七代
貸切 八二八二八八代
旅行部 八二七二二

蓄暖 エコキユート 販売・施工
(有)森田電気商会

南砺市高瀬五七三
TEL(〇七六三) 八二一〇六九一

神社仏閣建築設計施工
創業文政年間
森田建設株式会社
代表取締役 森田市五郎

小矢部市鷺島一七五
TEL(〇七六六) 六七〇〇六九

青果・食材
フルーツギフト
中村屋

南砺市山見四四二一
TEL(〇七六三) 八二一〇三三五

あなたの街のでんきやさん
ニューイングランドたかた

南砺市山下(井波行政センター前)
TEL(〇七六三) 八二一〇二一七

シリーズ

高瀬の今昔

③

手水舎のこと



りする人々が五十鈴川の御手洗場(みたらし)で身を清めるのはこの名残です。当神社の

高瀬神社の鳥居をくぐると、境内の右側に手水舎があります。手水舎とは、手を洗いうすいで身と心を清める場所のことで、手を洗うことから「てみずや」や「ちようずや」とも呼ばれ、手水を行ってから神様にお参りするのが本義とされており、手を洗うだけでなく、口をすすぐ事で体の内外が一度に清められ、正に合理的な方法といえます。古来、手水は近くを流れる川の水や湧き水で清めており、伊勢の神宮をお参

手水舎は、昭和四十五年伊勢の神宮より御下付され、外宮から移築された神明造のもので、中にある大きい水鉢は福野の川田工業株式会社から奉納されました。この水鉢の石は新潟県只見川上流から運ばれた自然石で、石の裏には「水神」の文字が刻まれていることから、「水神石」と呼ばれ、古くより近郷の人々から崇敬されており、石の上から流れる神水で清めると無病息災、幸運に恵まれると伝えられています。

現在の手水舎になる以前は、昭和元年十二月に大同電力株式会社より寄附された手水舎(写真)が本殿前、太鼓橋の左手前に建っており、建坪一坪七合五勺、屋形檜造、屋根銅葺、水鉢花崗石高二尺五寸横三尺二寸、四尺二寸あったようです。建物は残念ながら台風により倒壊いたしました。手水鉢は功霊殿の前に移動し、現在も使用されております。

(権禰宜 長谷川宏幸記)

献穀田だより

抜穂祭

井波地域中核農業士協議会(松井俊明会長)による「抜穂祭」が去る九月十九日、南砺市沖、村田文夫氏(本年奉耕者)の献穀田で斎行されました。

五月の「御田植祭」で植えられた「コシヒカリ」の稲を五名の早乙女が水田に入り、関係者が見守る中、刈り取られました。収穫された稲は十一月二十三日の新嘗祭で御神前にお供えされ、伊勢の神宮へも奉獻されました。

今年も権宮司も農作業(荒起し・刈り取り)に従事し、その様子は新聞紙上で数回にわたり紹介されました。



初穂曳奉仕



十月十五日、「第三十八回初穂曳」が三重県伊勢市で行われ、井波地域中核農業士協議

会の松井俊明会長御夫妻・奉耕者の村田文夫御夫妻・浦権禰宜の五名が参加し、献穀田で収穫した「コシヒカリ」の稲束を伊勢の神宮へ納め、神恩感謝と更なる五穀豊穰をお祈りしました。

また、前日には二見興玉神社、御鹽田神社を参拝し、神宮徴古館、神宮御園、神宮神田を見学いたしました。



ご案内

節分祭 (豆まき)

二月三日

午後三時齋行

ご家族お揃いで御参列下さい。

平成三十二年厄年

本年は次の通りです

(男性)

二十五歳

前厄 (昭和六十二年生)

本厄 (昭和六十一年生)

後厄 (昭和六十年生)

四十二歳

前厄 (昭和四十五年生)

本厄 (昭和四十四年生)

後厄 (昭和四十三年生)

(女性)

十九歳

前厄 (平成五年生)

本厄 (平成四年生)

後厄 (平成三年生)

三十三歳

前厄 (昭和五十四年生)

本厄 (昭和五十三年生)

後厄 (昭和五十二年生)

三十七歳

前厄 (昭和五十年生)

本厄 (昭和四十九年生)

後厄 (昭和四十八年生)

戌の日 (安産祈願)

一月十二・二十四日

二月五・十七日

三月一・十三・二十五日

四月六・十八・三十日

五月十二・二十四日

六月五・十七・二十九日

七月十一・二十三日

八月四・十六・二十八日

九月九・二十一日

十月三・十五・二十七日

十一月八・二十日

十二月二・十四・二十六日

腹帯のお祓いも行いますので
ご持参下さい。

奉納

○「木彫りなでうさぎ」

南砺市井波

南部 白雲殿

九月二十八日

○「懸崖菊」

南砺市安清

向井 清明殿

十一月一日

○「神饌米」

南砺市高瀬

岩倉 和弘殿

十一月二十三日

○「自然農法こしひかり」

南砺市土生新

奥野平喜知殿

十一月二十三日

○「国旗」

南砺市高瀬

大和彌寿夫殿

十二月一日

○「カレンダー」

南砺市高瀬

南砺市立井波高瀬保育園
園児の皆さん

十二月十五日



○「干支 (寅) 大絵馬」

南砺市山下

南部 栄殿

富山市古鍛冶町

大谷美術学園

園長 大谷 弓子殿

十二月二十日

訃報

第一回の献茶祭からお世話
をいただいております西尾
金満(宗依)副会長は、去る
十月十八日に急逝されました。ここ
数年は献茶祭に自筆の短冊を
奉納され、参加者全員にお配
りになっておられました。
謹んでご冥福をお祈りいた
します。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
昨年は、天皇陛下御即位二十年の
佳節を迎え、国民一同で奉祝した年
でありました。また「全国神社総代
会」「全国一の宮会総会」が当地を
会場に開催され、県外から大勢の参
拝者で社頭はおおいに賑わいました。
本年も氏子・崇敬者の皆様には、
高瀬の大神様の御加護によりまして
病氣・災難無く益々お元気にお過ご
しくさせていただきますようお願い申し上げ
ます。

表紙写真

干支(寅)大絵馬と
大谷美術学園の皆さん

ブライダルフェア 及び 相談会情報



1月

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

年始婚礼相談会
13時～18時

毎月一のつく日は **一の宮フェア**
神前式リハーサル体験会 ①13時～ ②14時～ ③15時～



絆結フェア
10時～16時

2/12(金) 3/12(金)
13(土) 13(土)



特別御招待会
10時～17時
1/30(土) 3/6(土)

土日相談会
10時～16時

平日相談会
10時～16時

プチ相談会
10時～16時
2/27(土) 3/27(土)

1/31(日) ブライダルフェア

10時～17時

3/7(日) おひろめフェア

10時～17時

神社で…



挙式じゃもったいない!
神社で叶うお洒落な披露宴を
「おひろめ」するフェア

14時～
模擬結婚式
模擬披露宴

